

「心の病も癒やす」薬剤師 育てたい

産創館レポート

起業をまったく考えていなかった女性が1カ月で会社を設立し、その2カ月後には物件を押さえ、さらにその2カ月後には定員の100人を超える生徒を集めて講義をスタート。たった5カ月で薬剤師専門予備校を開校したのがMedisere（メディセレ、大阪市淀川区）の児島恵美子社長です。

薬剤師国家試験対策の大手予備校のカリスマ講師だった児島さんは、「合格後までを含めて薬剤師を教育したい」という思いを持っていたため、勤めていた予備校の方針に違和感を持っていました。そこで、自分の思



う薬剤師教育を実践しようと退職を決意しました。

ところが、退職を知った同僚から「先生が辞めるなら私たちも辞める」、学生からは「児島先生の授業を受けたい」と声が上がリ、周囲の声に後押しされる形で、理想とする教育の場の設立を決意しました。

メディセレでは国家試験対策だけでなく、結婚や出産などできれば現場を離れていた薬剤師の復職支援など、資格取得後のキャリアまでを含んだ生涯教

育を行うのが特徴です＝写真。

特にユニークなのは、心理カウンセラーコースを併設している点です。心の病が問題化している現在、薬局にカウンセリングのできる薬剤師がいれば、気軽にカウンセリングを受けることができ、心の病の重症化を防ぐ「社会の保健室、の役割を担うことができるのではないかと考えたのです。

開講したばかりですが、将来はメディセレを卒業した薬剤師による、薬局でのカウンセリングサービス事業への展開も視野に入れています。

従来の予備校ビジネスの枠を超え、「薬学」を中心にさまざまな事業展開が期待されるビジネスプランと、児島さんの行動力、強い信念が高く評価され、「ビジネスアワードOSAKA



2008」で最優秀認定を受け、大阪市長賞も受賞しました。

2年目のいま、大阪以外での開校も検討しています。大阪発のメディセレスクール。今その名が全国に知られ始めています。

（大阪産業創造館プランナー 下野麻佐子）

大阪産業創造館 大阪市が運営する中小企業の支援機関。民間スタッフを登用し、チャレンジ精神と現場主義をモットーに、さまざまな経営支援サービスを展開している。所在地は大阪市中央区。